

横浜市中央卸売市場の現状について

平成22年 6月18日

横浜市中央卸売市場

目 次

1	横浜市中心卸売市場の概要	1
2	横浜市中心卸売市場の取扱高	
	(1) 部別取扱高推移	3
	(2) 全国主要都市との比較	5
	[資料]	
	① 青果部 : 市場別・種別取扱高推移	6
	② 水産物部 : 市場別・種別取扱高推移	8
	③ 鳥卵部 : 種別取扱高推移	10
	④ 花き部 : 種別取扱高推移	11
	⑤ 食肉部 : 種別取扱高推移	12
3	中央卸売市場（本場&南部）の統合整備（再編・機能強化）について	13

1 横浜市中央卸売市場の概要

(平成22年6月1日現在)

市場名	本場	南部市場	食肉市場
開設年月日	昭和6年2月11日	昭和48年11月8日	昭和34年11月5日
取扱品目	青果・水産物・鳥卵	青果・水産物・花き	食肉
敷地面積	106,211㎡	168,227㎡	42,600㎡
建物 (建設時期)	延べ床面積 130,761㎡ 青果棟：昭和60～平成4年 水産棟：昭和55～61年 【主な施設】 青果棟 48,459㎡ 水産棟 50,282㎡ 関連棟 6,992㎡ 第1冷蔵庫棟 5,780㎡ 第2冷蔵庫棟 3,602㎡	延べ床面積 101,374㎡ 青果・水産・花き棟： 昭和46～48年 横浜フレッシュセンター： 平成17～19年 【主な施設】 青果棟 19,354㎡ 水産棟 14,612㎡ 花き棟 2,454㎡ 関連商品売場棟 8,925㎡ 冷蔵庫棟 9,886㎡ 横浜フレッシュセンター 14,150㎡	延べ床面積 22,530㎡ 本館棟：昭和63～平成元年 仲卸棟：平成6～7年 【主な施設】 冷蔵室 3,548㎡ 解体室 1,498㎡ 内臓処理室 582㎡ けい留所 1,832㎡
	卸売業者	青果部 2 水産物部 2 鳥卵部 1	青果部 2 水産物部 2 花き部 2
仲卸業者	青果部 29 水産物部 78	青果部 11 水産物部 29 花き部 4	食肉部 5
売買参加者	青果部 659 水産物部 17 鳥卵部 662	青果部 366 水産物部 11 花き部 477	食肉部 176
関連事業者	47	56	2

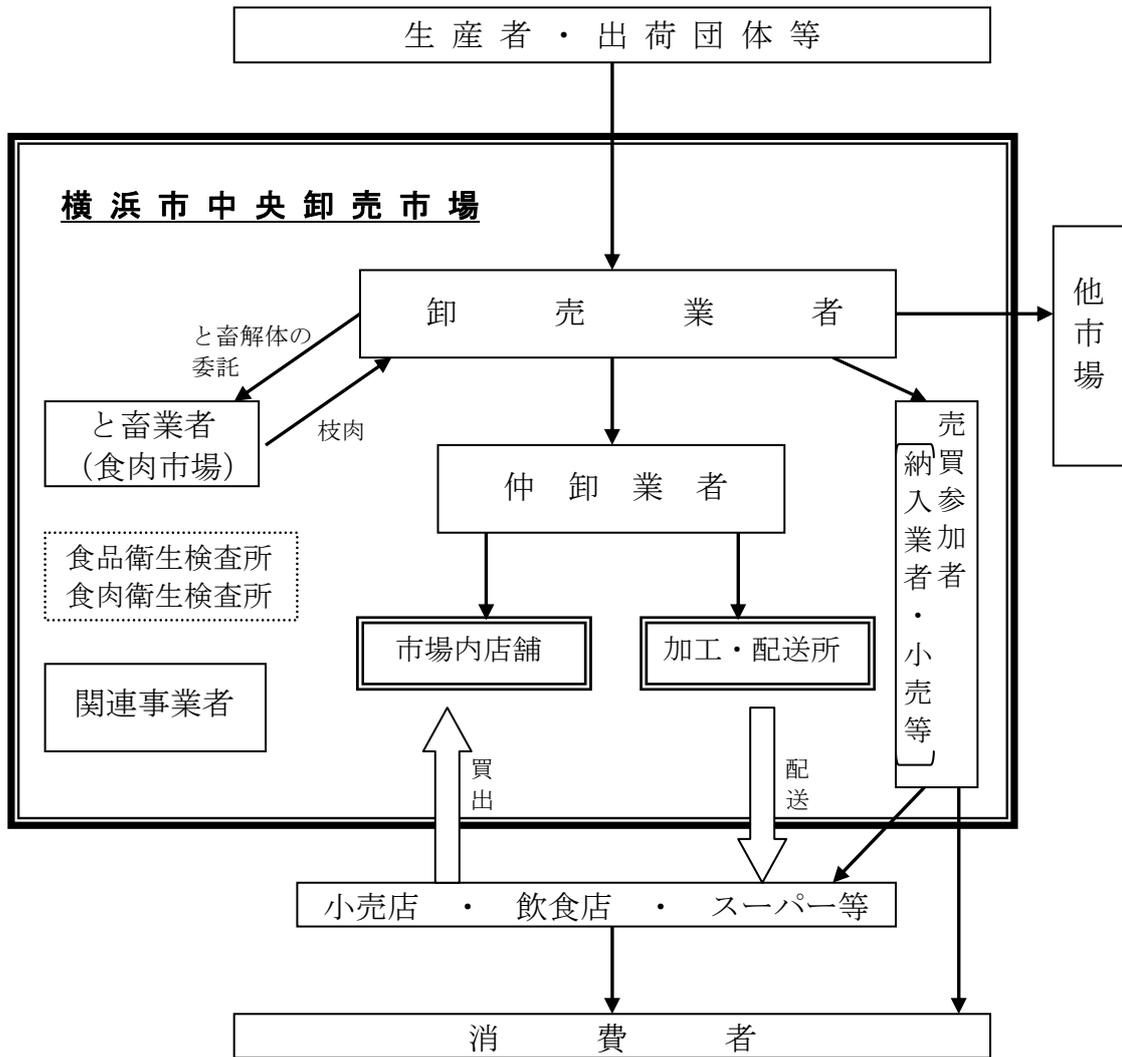
◎ 市場の沿革

横浜市では、昭和6年2月、神奈川区に、全国で3番目、東日本では最初の中央卸売市場を開設いたしました。

昭和34年11月には肉類を専門に扱う食肉市場を鶴見区に開設し、さらに人口増加による本市市場に対するニーズの増大を背景に昭和48年11月金沢区に南部市場を開設いたしました。

本市中央卸売市場は、卸売市場法及び横浜市中心卸売市場業務条例に基づき開設・運営しており、公正かつ効率的な取引のもとに、市民の日常生活に欠かせない安全で安心な生鮮食料品等の安定供給に努めております。

◎ 流通形態



◎ 卸売業者

各地の生産者・出荷団体等から集荷した生鮮食料品等を仲卸業者や売買参加者に販売します。

◎ 仲卸業者

卸売業者から買い受けた品物を仕分け、市場内の店舗で小売店等に販売するとともに、スーパーなどに向けて、カットやパック詰めなどの加工ならびに配送を行います。

◎ 売買参加者

卸売業者から、直接買い受けることのできる納入専門業者、小売事業者等です。

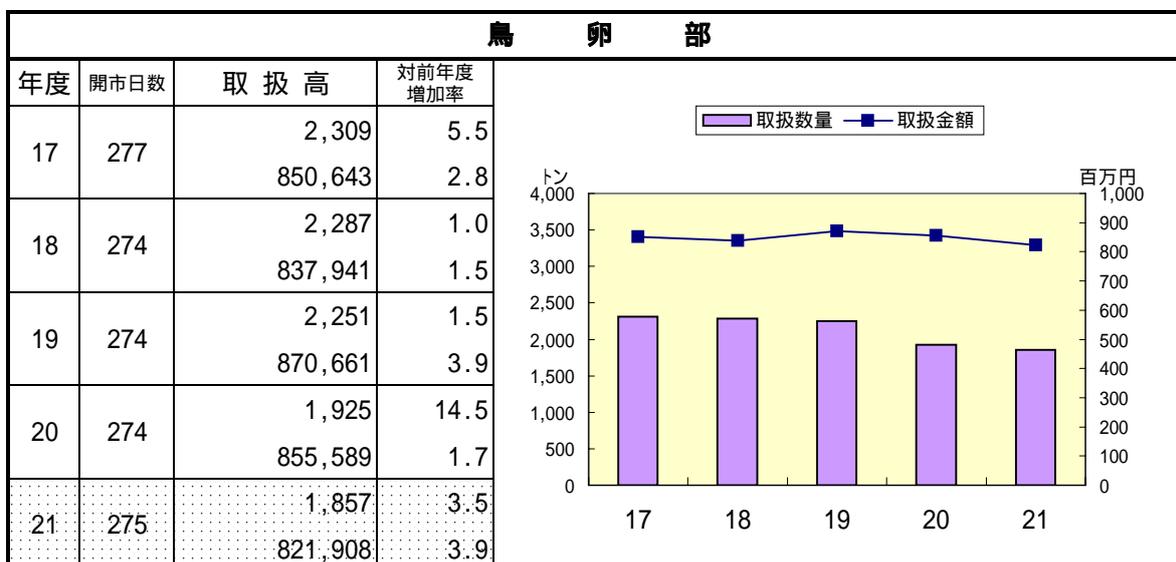
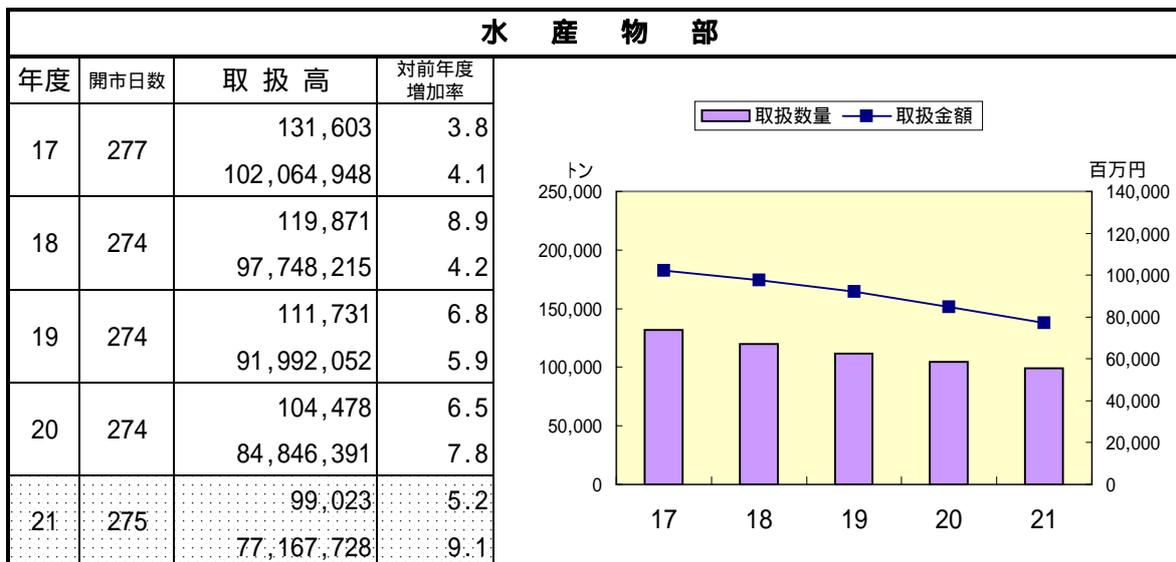
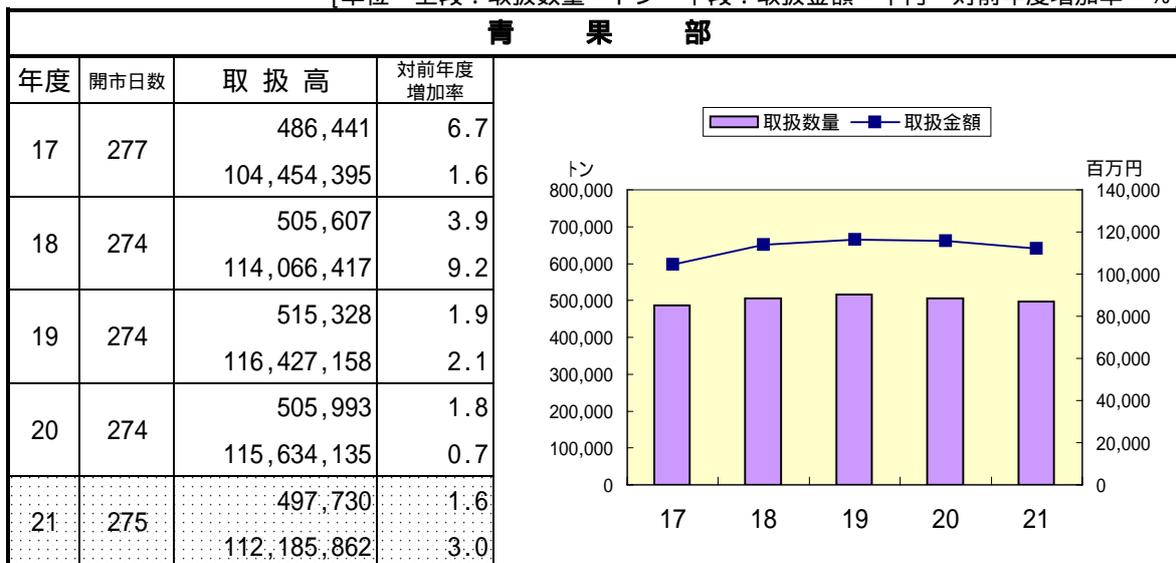
◎ 関連事業者

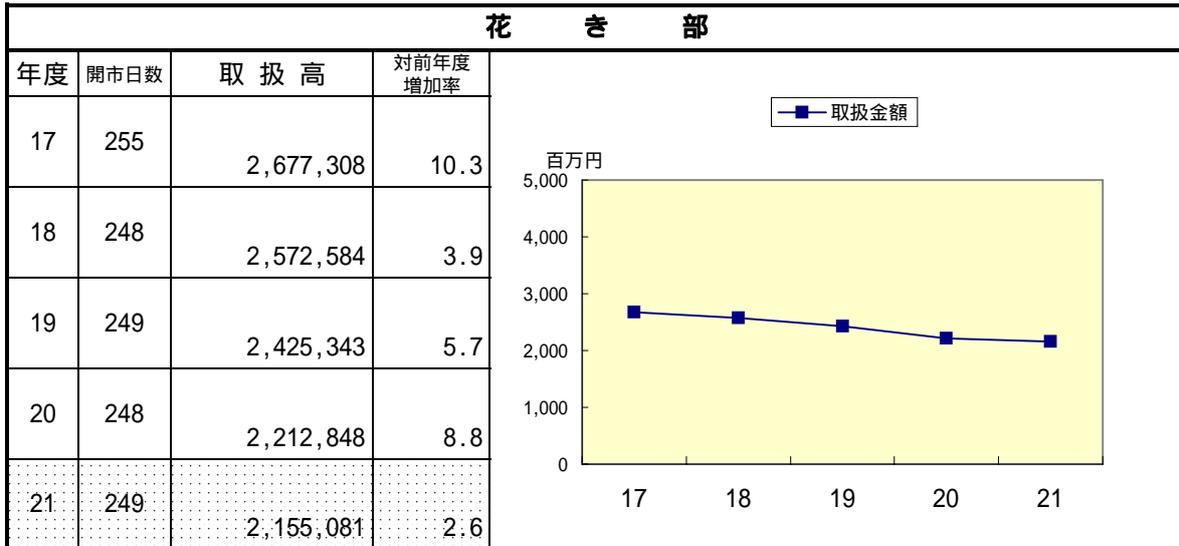
市場利用者のために運送業、(冷蔵)倉庫業、飲食店、金融業等の業務を市場内で行っています。

2 横浜市中心卸売市場の取扱高

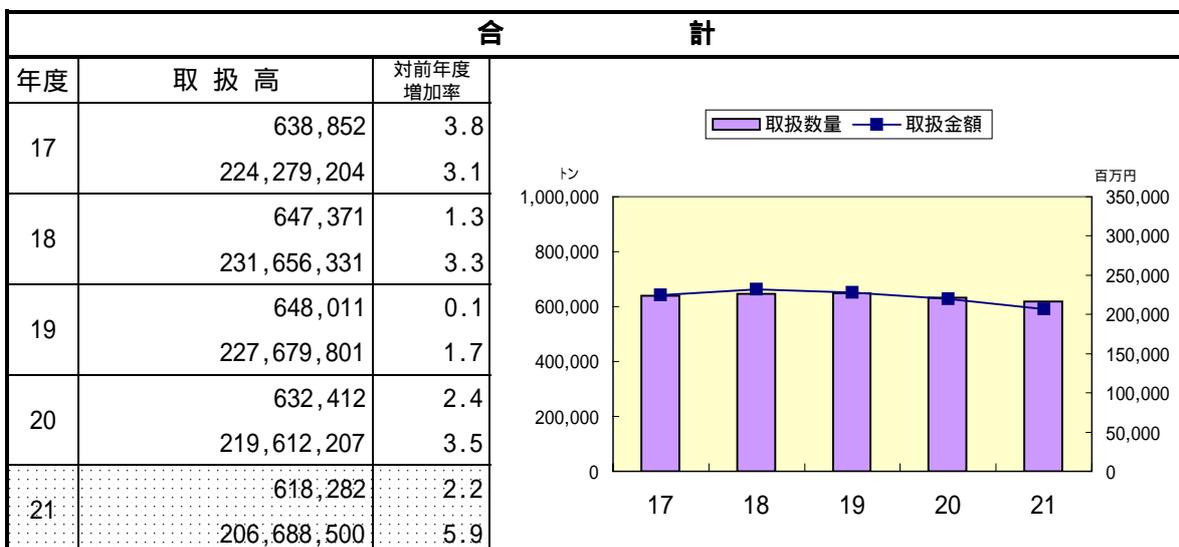
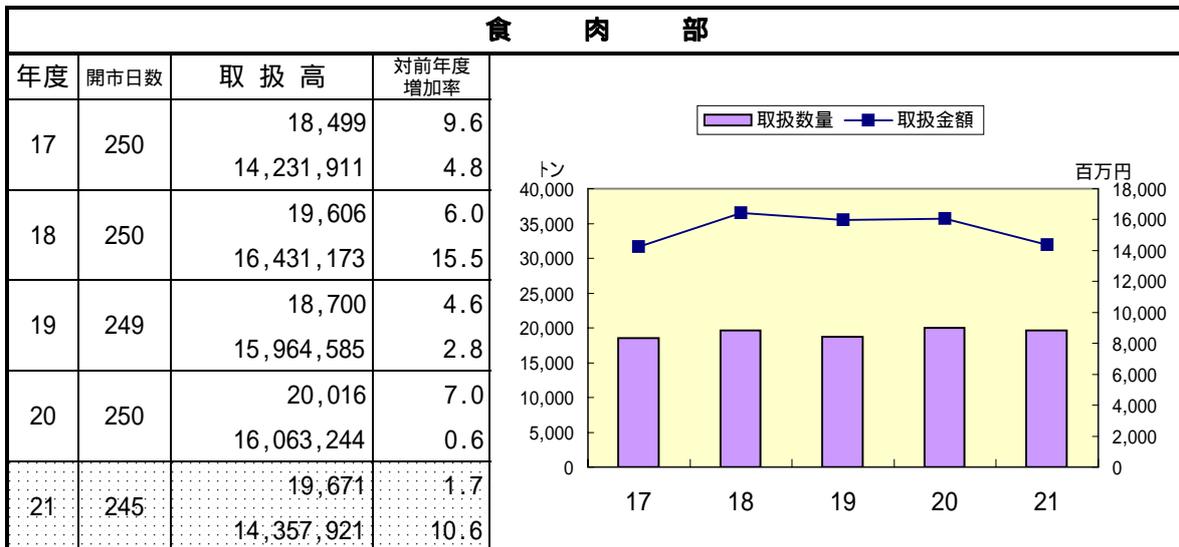
(1) 部別取扱高推移

[単位 上段：取扱数量＝トン・下段：取扱金額＝千円 対前年度増加率＝％]





(注) 「花き部」では、切花(単位:本)、鉢物(単位:鉢)等、取扱品により数量単位が異なるため、取扱金額のみ表示しています。



(注) 取扱数量に「花き」は含んでいません。

(2) 全国主要都市との比較

平成21年度における全国主要都市の取扱金額を比較しますと、青果（表1）は全国で東京都、大阪市、名古屋市に次いで第4位となっています。

また、水産物（表2）は第5位、花き（表3）は第6位、食肉（表4）は第5位となっています。

(表1)

青果部		
順位	都市名	取扱金額 (千円)
1	東京都	510,323,283
2	大阪市	168,612,517
3	名古屋市	127,626,958
4	横浜市	112,185,862
5	京都市	69,240,299
6	札幌市	58,636,890
7	福岡市	54,313,122
8	広島市	47,345,471
9	仙台市	46,326,877
10	神戸市	37,390,468

(表2)

水産物部		
順位	都市名	取扱金額 (千円)
1	東京都	468,231,510
2	大阪市	173,998,773
3	名古屋市	137,269,694
4	札幌市	97,546,714
5	横浜市	77,167,728
6	仙台市	70,805,693
7	神戸市	65,470,478
8	福岡市	52,515,092
9	京都市	46,369,518
10	広島市	33,952,293

(表3)

花き部		
順位	都市名	取扱金額 (千円)
1	東京都	88,445,768
2	仙台市	9,919,014
3	広島市	6,534,138
4	神戸市	3,366,540
5	川崎市	3,086,216
6	横浜市	2,155,081

(表4)

食肉部		
順位	都市名	取扱金額 (千円)
1	東京都	96,487,197
2	大阪市	25,450,586
3	仙台市	17,638,532
4	名古屋市	16,979,116
5	横浜市	14,357,921
6	神戸市	12,426,962
7	福岡市	12,174,626
8	さいたま市	7,807,616
9	京都市	7,080,780
10	広島市	5,294,602

【参考】 全国の中央卸売市場数
(平成22年4月1日現在)

市場数	
中央卸売市場	75 (46都市)
うち 青果	60 (45都市)
水産物	47 (41都市)
花き	23 (19都市)
食肉	10 (10都市)

[資料]

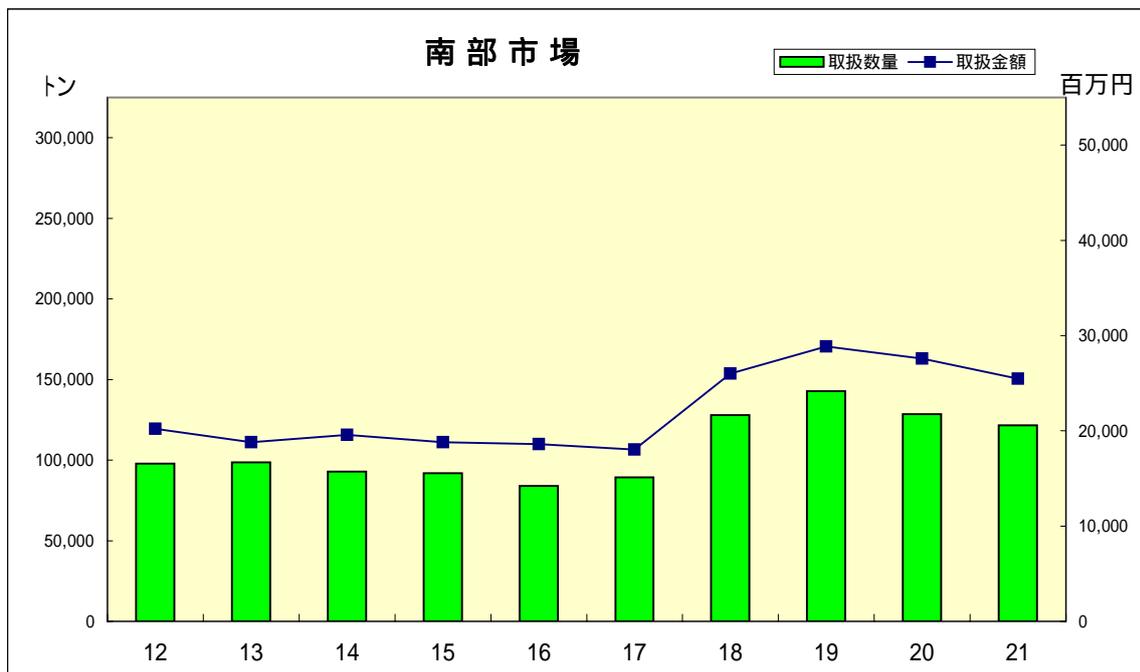
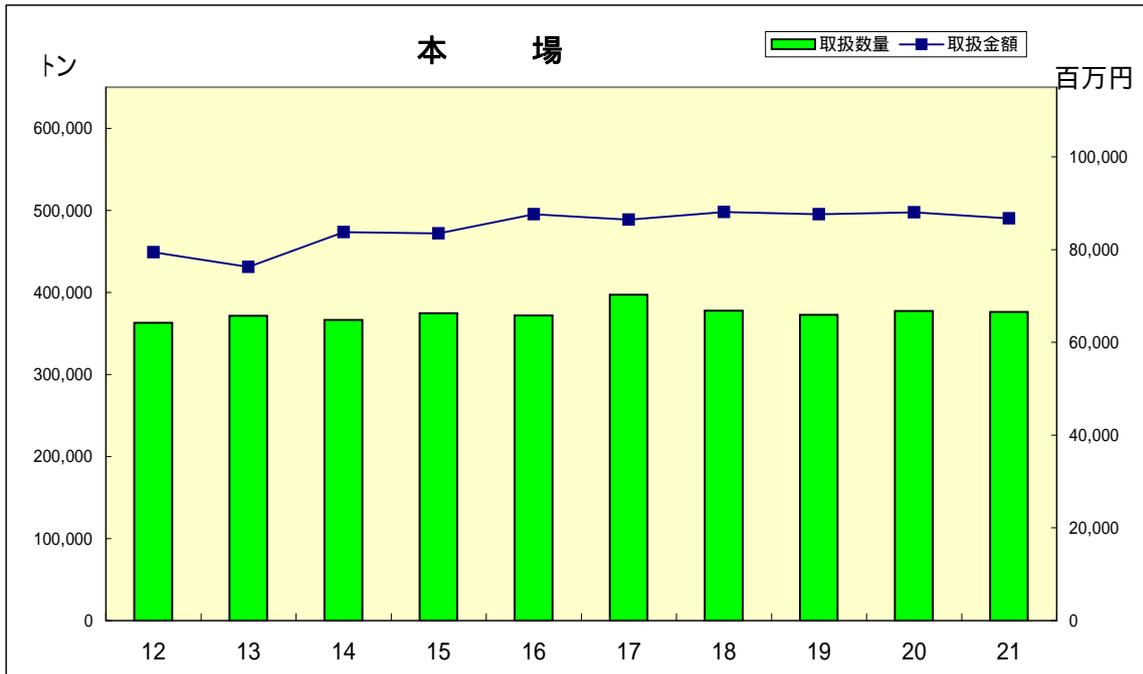
青果部：市場別・種別取扱高推移

[単位 上段：取扱数量 = トン・下段：取扱金額 = 千円 対前年度増加率 = %]

市場	年度	野菜		果実		つけ物及び加工品		計	
		取扱高	対前年度増加率	取扱高	対前年度増加率	取扱高	対前年度増加率	取扱高	対前年度増加率
本場	17	283,013	7.3	102,760	6.5	11,380	3.0	397,153	6.8
		58,188,263	0.2	25,561,103	3.6	2,670,512	3.4	86,419,877	1.3
	18	278,592	1.6	87,969	14.4	11,065	2.8	377,625	4.9
		59,323,264	2.0	26,130,857	2.2	2,612,979	2.2	88,067,099	1.9
	19	272,790	2.1	89,584	1.8	10,176	8.0	372,550	1.3
		59,886,622	0.9	25,250,737	3.4	2,446,623	6.4	87,583,982	0.5
場	20	277,809	1.8	89,452	0.1	10,180	0.0	377,441	1.3
		61,284,925	2.3	24,236,182	4.0	2,534,790	3.6	88,055,898	0.5
	21	277,655	0.1	89,064	0.4	9,333	8.3	376,052	0.4
南部市場	17	68,716	7.3	19,065	3.7	1,507	6.4	89,288	6.3
		12,474,209	1.5	5,159,896	6.1	400,412	7.7	18,034,518	3.0
	18	94,938	38.2	30,194	58.4	2,850	89.2	127,982	43.3
		17,492,822	40.2	7,684,002	48.9	822,494	105.4	25,999,318	44.2
	19	99,982	5.3	38,964	29.0	3,833	34.5	142,778	11.6
		18,780,203	7.4	9,033,758	17.6	1,029,215	25.1	28,843,176	10.9
場	20	87,747	12.2	37,006	5.0	3,799	0.9	128,552	10.0
		17,189,094	8.5	9,284,431	2.8	1,104,712	7.3	27,578,237	4.4
	21	83,199	5.2	34,737	6.1	3,743	1.5	121,678	5.3
合計	17	351,729	7.3	121,825	6.0	12,887	3.4	486,441	6.7
		70,662,471	0.5	30,720,999	4.0	3,070,924	4.0	104,454,395	1.6
	18	373,530	6.2	118,162	3.0	13,915	8.0	505,607	3.9
		76,816,086	8.7	33,814,858	10.1	3,435,473	11.9	114,066,417	9.2
	19	372,771	0.2	128,547	8.8	14,009	0.7	515,328	1.9
		78,666,825	2.4	34,284,495	1.4	3,475,838	1.2	116,427,158	2.1
計	20	365,556	1.9	126,458	1.6	13,979	0.2	505,993	1.8
		78,474,020	0.2	33,520,613	2.2	3,639,502	4.7	115,634,135	0.7
	21	360,854	1.3	123,800	2.1	13,076	6.5	497,730	1.6
		77,937,942	0.7	30,826,183	8.0	3,421,738	6.0	112,185,862	3.0

(注) 単位未満は四捨五入したため、内訳の数値を積み上げた数値は、合計の数値と一致しない場合があります。

青果部 市場別取扱高の推移 (H12～H21)



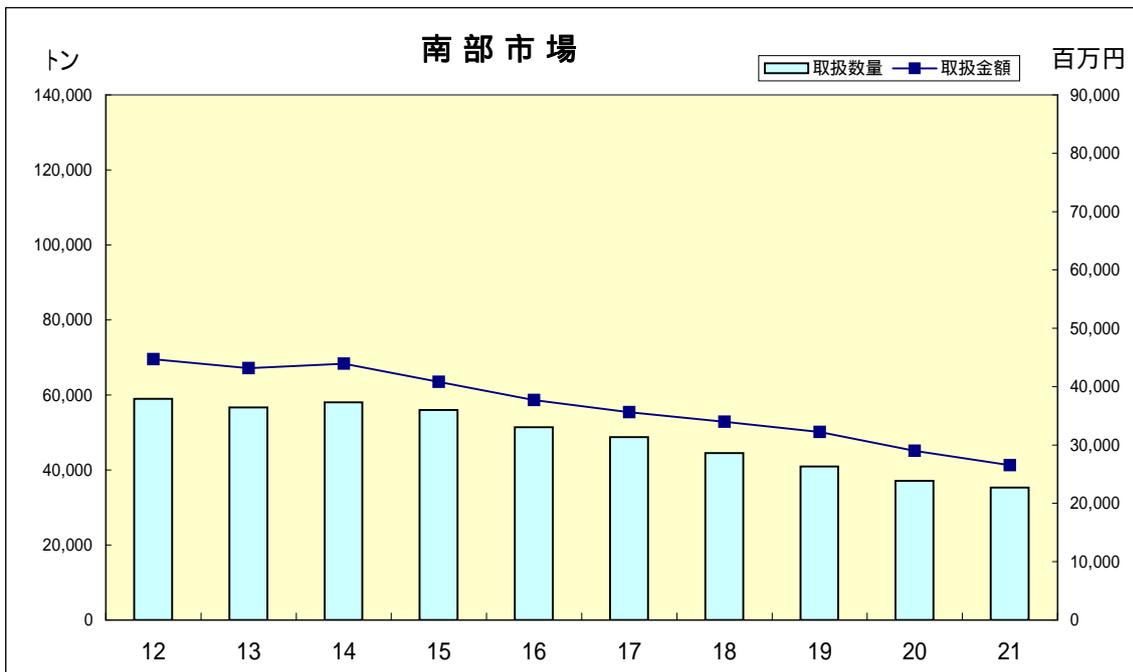
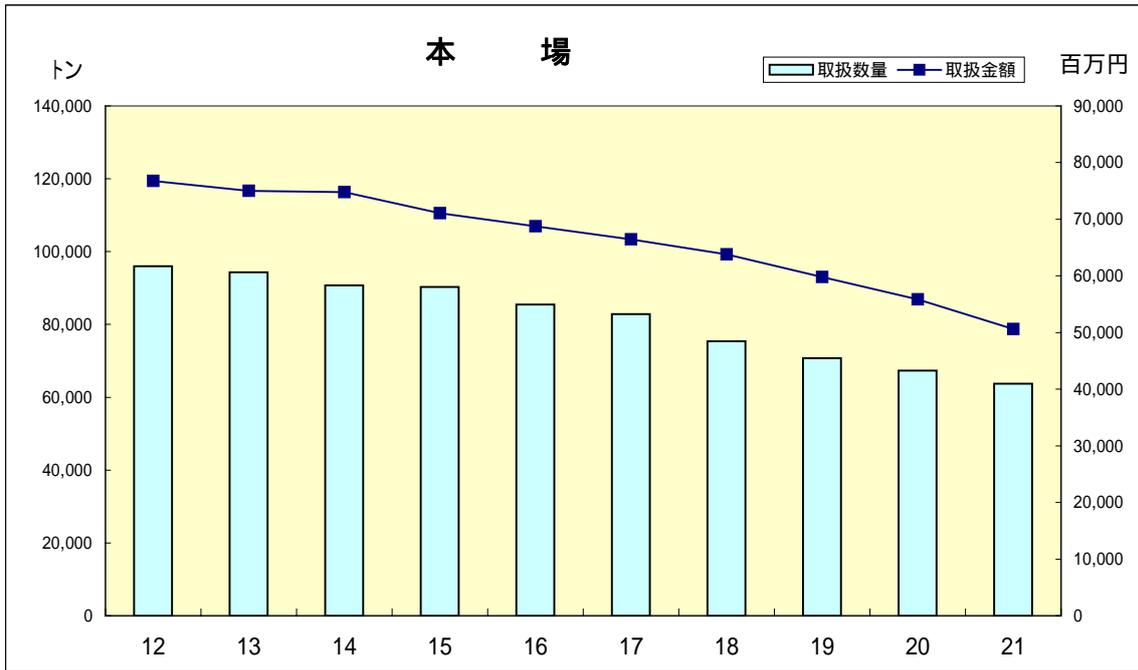
水産物部：市場別・種別取扱高推移

[単位 上段：取扱数量 = トン・下段：取扱金額 = 千円 対前年度増加率 = %]

市場	年度	生鮮品		冷凍品		加工品		計	
		取扱高	対前年度増加率	取扱高	対前年度増加率	取扱高	対前年度増加率	取扱高	対前年度増加率
本場	17	33,128	0.4	23,807	7.2	25,945	3.3	82,880	3.0
		24,787,200	2.3	21,510,558	1.9	20,138,015	6.1	66,435,773	3.4
	18	29,886	9.8	20,220	15.1	25,288	2.5	75,395	9.0
		23,908,852	3.5	19,715,506	8.3	20,169,015	0.2	63,793,373	4.0
	19	28,533	4.5	18,359	9.2	23,883	5.6	70,776	6.1
		22,770,061	4.8	18,387,095	6.7	18,623,287	7.7	59,780,443	6.3
20	28,613	0.3	16,684	9.1	22,068	7.6	67,365	4.8	
	22,237,440	2.3	16,289,742	11.4	17,308,317	7.1	55,835,500	6.6	
	27,240	4.8	15,631	6.3	20,826	5.6	63,697	5.4	
21	20,263,709	8.9	14,528,490	10.8	15,814,820	9.4	50,607,018	9.4	
南部市場	17	21,077	0.9	10,238	15.3	17,409	3.6	48,724	5.2
		14,669,265	2.0	9,367,561	12.1	11,592,349	4.1	35,629,175	5.5
	18	19,667	6.7	8,295	19.0	16,515	5.1	44,477	8.7
		14,431,988	1.6	8,183,446	12.6	11,339,408	2.2	33,954,842	4.7
	19	18,787	4.5	8,303	0.1	13,866	16.0	40,956	7.9
		13,674,902	5.2	8,233,153	0.6	10,303,555	9.1	32,211,610	5.1
20	18,070	3.8	6,482	21.9	12,561	9.4	37,113	9.4	
	12,849,192	6.0	6,215,192	24.5	9,946,507	3.5	29,010,891	9.9	
	17,555	2.8	6,033	6.9	11,738	6.6	35,326	4.8	
21	11,930,889	7.1	5,538,751	10.9	9,091,070	8.6	26,560,709	8.4	
合計	17	54,205	0.1	34,044	9.8	43,354	3.4	131,603	3.8
		39,456,465	2.2	30,878,119	5.3	31,730,364	5.4	102,064,948	4.1
	18	49,553	8.6	28,515	16.2	41,803	3.6	119,871	8.9
		38,340,840	2.8	27,898,951	9.6	31,508,423	0.7	97,748,215	4.2
	19	47,320	4.5	26,662	6.5	37,749	9.7	111,731	6.8
		36,444,963	4.9	26,620,248	4.6	28,926,842	8.2	91,992,052	5.9
20	46,683	1.3	23,166	13.1	34,629	8.3	104,478	6.5	
	35,086,632	3.7	22,504,935	15.5	27,254,825	5.8	84,846,391	7.8	
	44,795	4.0	21,665	6.5	32,563	6.0	99,023	5.2	
21	32,194,598	8.2	20,067,240	10.8	24,905,889	8.6	77,167,728	9.1	

(注) 単位未満は四捨五入したため、内訳の数値を積み上げた数値は、合計の数値と一致しない場合があります。

水産物部 市場別取扱高の推移 (H12～H21)



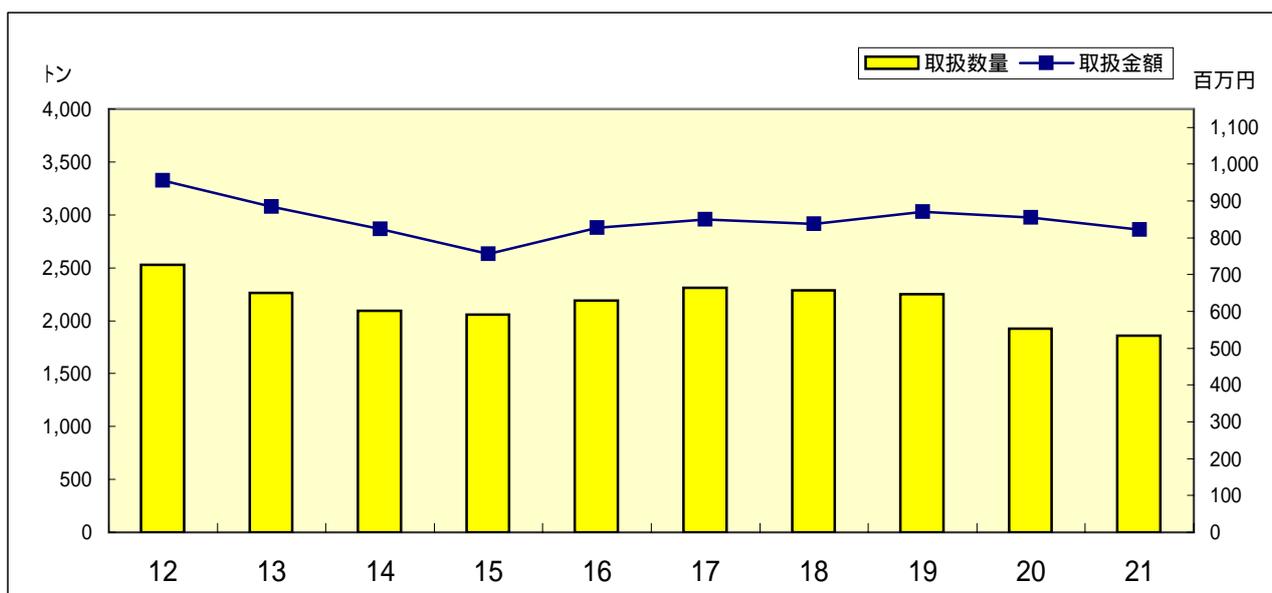
鳥卵部：種別取扱高推移

[単位 上段：取扱数量 = トン・下段：取扱金額 = 千円 対前年度増加率 = %]

市場	年	鳥 肉		鳥 卵		合 計	
		取 扱 高	対前年度 増加率	取 扱 高	対前年度 増加率	取 扱 高	対前年度 増加率
本 場	17	1,719	3.6	590	11.4	2,309	5.5
		703,296	2.0	147,346	7.1	850,643	2.8
	18	1,605	6.7	682	15.6	2,287	1.0
		678,404	3.5	159,537	8.3	837,941	1.5
	19	1,512	5.8	739	8.4	2,251	1.5
		708,485	4.4	162,176	1.7	870,661	3.9
20	1,276	15.6	650	12.1	1,925	14.5	
	694,250	2.0	161,338	0.5	855,589	1.7	
21	1,278	0.2	579	10.9	1,857	3.5	
	688,870	0.8	133,037	17.5	821,908	3.9	

(注) 単位未満は四捨五入したため、内訳の数値を積み上げた数値は、合計の数値と一致しない場合があります。

鳥卵部 取扱高の推移 (H12 ~ H21)



花き部：種別取扱高推移

[単位 上段：取扱数量 = ()・下段：取扱金額 = 千円 対前年度増加率 = %]

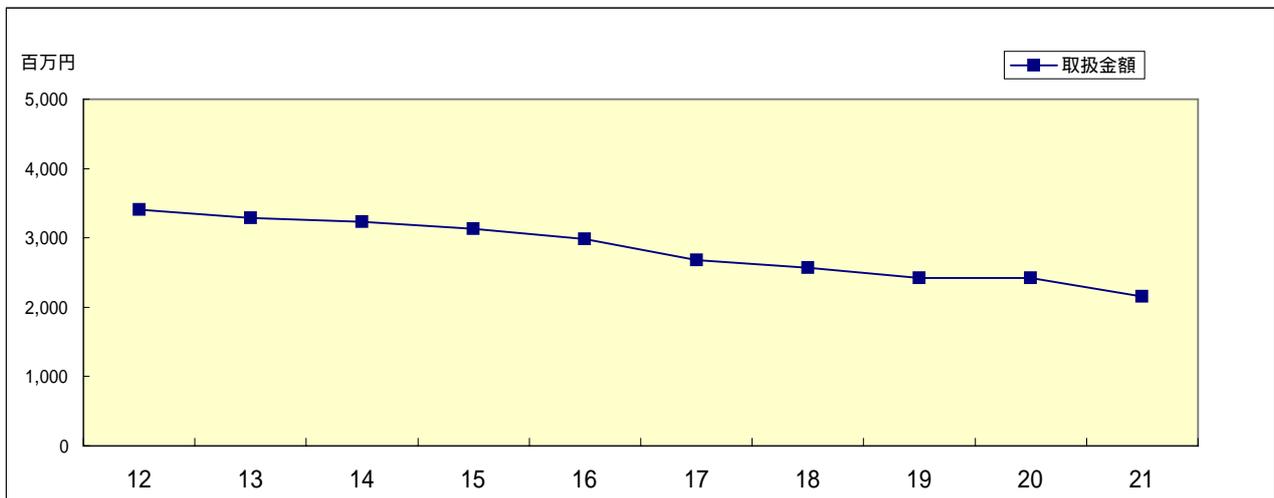
市 場	年 度	切花 (ケース)		枝物 (束)		鉢物 (鉢)		その他		合 計	
		取扱高	対前年度 増加率	取扱高	対前年度 増加率	取扱高	対前年度 増加率	取扱高	対前年度 増加率	取扱高	対前年度 増加率
南 部 市 場	17	389,281	6.0	38,778	7.8	1,863,068	7.3				
		2,151,629	11.1	195,008	5.5	311,686	8.3	18,985	5.0	2,677,308	10.3
	18	377,976	2.9	38,050	1.9	1,630,607	12.5				
		2,095,617	2.6	196,113	0.6	263,387	15.5	17,466	8.0	2,572,584	3.9
	19	358,213	5.2	38,853	2.1	1,450,184	11.1				
		1,977,072	5.7	195,935	0.1	238,554	9.4	13,782	21.1	2,425,343	5.7
20	345,163	3.6	39,226	1.0	1,433,262	1.2					
	1,805,230	8.7	182,066	7.1	210,856	11.6	14,697	6.6	2,212,848	8.8	
21	327,100	5.2	36,979	5.7	1,391,508	1.2					
	1,775,381	1.7	164,455	9.7	199,247	11.6	15,999	8.9	2,155,081	2.6	

(注1) 1ケース = 100本、1束 = 10把 = 100本

(注2) 単位未満は四捨五入したため、内訳の数値を積み上げた数値は、合計の数値と一致しない場合があります。

(注3) その他は、野菜苗、球根、門松セットなどです。

花き部 取扱高の推移 (H12～H21)



食肉部：種別取扱高推移

[単位 上段：取扱頭数、()と畜頭数 = 頭・中段：取扱重量 = トン・下段：取扱金額 = 千円 増加率 = %]

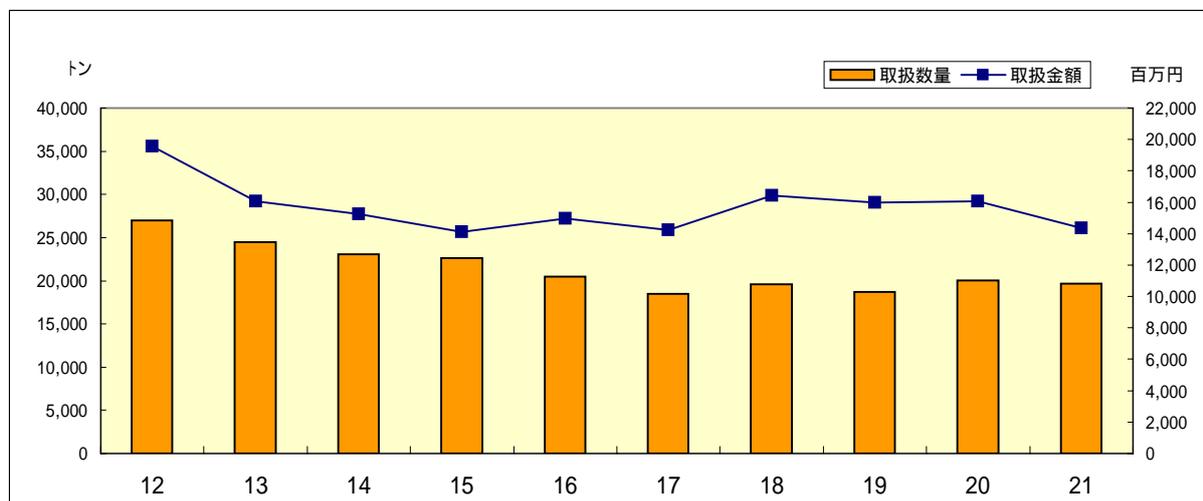
市場	年	牛		豚		その他		合計	
		取扱高	対前年度増加率	取扱高	対前年度増加率	取扱高	対前年度増加率	取扱高	対前年度増加率
食肉市場	17	12,749	8.7	168,217	10.0	0	0.0	180,966	9.9
		(12,290)	(9.9)	(159,282)	(7.8)	(1)	(0.0)	(171,573)	(8.0)
		5,399	10.2	12,999	9.4	101	8.1	18,499	9.6
		8,240,827	3.6	5,669,780	7.0	321,304	5.0	14,231,911	4.8
	18	15,977	25.3	161,556	4.0	0	0.0	177,533	1.9
		(15,608)	(27.0)	(148,428)	(6.8)	(0)	(0.0)	(164,036)	(4.4)
		6,972	29.1	12,544	3.5	90	11.4	19,606	6.0
		10,500,479	27.4	5,520,101	2.6	410,593	27.8	16,431,173	15.5
	19	17,126	7.2	140,895	12.8	0	0.0	158,021	11.0
		(16,459)	(5.5)	(128,562)	(13.4)	(0)	(0.0)	(145,021)	(11.6)
		7,657	9.8	10,974	12.5	70	21.9	18,700	4.6
		10,315,898	1.8	5,200,638	5.8	448,049	9.1	15,964,585	2.8
20	21,134	23.4	138,008	2.0	0	0.0	159,142	0.7	
	(16,051)	(2.5)	(125,183)	(2.6)	(0)	(0.0)	(141,234)	(2.6)	
	9,224	20.5	10,791	1.7	1	99	20,016	7.0	
	10,641,422	3.2	4,954,501	4.7	467,321	4	16,063,244	0.6	
21	19,617	7.2	141,170	2.3	0	0.0	160,787	1.0	
	(17,987)	(12.1)	(133,480)	(6.6)	(0)	(0.0)	(151,467)	(7.2)	
	8,790	4.7	10,882	0.8	0	100	19,671	1.7	
	9,623,569	9.6	4,241,916	14.4	492,437	5	14,357,921	10.6	

注1) 単位未満は四捨五入したため、内訳の数値を積み上げた数値は、合計の数値と一致しない場合があります。

注2) 増加率は、単位未満を四捨五入する前の数値で計算した。

注3) その他は、輸入牛肉・子牛・部分肉・副生物など。

食肉部 取扱高の推移(H12～H21)



3 中央卸売市場（本場&南部）の統合整備（再編・機能強化）について

(1) 包括外部監査意見

平成18年3月、包括外部監査で次のような意見が出されました。

- ◎ 市場の取扱量減少、市場事業者の経営悪化、中央卸売市場費会計への一般会計繰入状況を踏まえ、
- ◎ 今後の市場のあり方（2市場体制を維持するか否か等）の検討を求める

(2) 横浜市中央卸売市場開設運営協議会答申

包括外部監査の意見を受けて、平成18～19年度に横浜市中央卸売市場開設運営協議会で今後の市場のあり方が検討され、平成20年3月、次のような答申が出されました。

- ◎ 中央卸売市場を引続き開設・運営すること
- ◎ 市場機能の強化を図ること
- ◎ 市場規模の適正化（本場・南部市場の統合）を図ること
 - ・統合時期：南部市場の施設が更新時期を迎える概ね10年後を目標
 - ・統合場所：①「本場への統合（南部市場用地の物流センター等での活用も検討）」
②「南部市場への統合」
③本場・南部市場以外の候補地への「移転新設」

(3) 新市場整備協議会（市場関係事業者と横浜市の検討組織）

横浜市中央卸売市場開設運営協議会の答申を踏まえ、平成20年度以降、市場関係事業者と横浜市で検討を重ねています。

◎ 統合時期

商圏が競合する東京都の大田市場青果部の低温配送センターが平成23年度、豊洲市場が平成26年度に稼働予定であり、これらの市場に対抗していくには、より早期の統合が必要

◎ 統合場所

早期の統合整備のため、「移転新設」案ではなく、既存施設の改修整備を基本に、「本場への統合」案または「南部市場への統合」案で調整を図っていく

【参考】東京（大田 & 築地）市場の再整備計画

	大田市場	築地市場
所在地	大田区東海3丁目（大井埠頭南端）	中央区築地5丁目（浜離宮隣接地）
敷地面積	402千㎡（水産部・花き部含む全敷地）	231千㎡（青果部含む全敷地）
再整備計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 外気遮断、温度管理できる低温配送センターの整備 ・敷地面積：16,500㎡ ・施設規模：3階建 ・延床面積：33,000㎡ ・機能：荷捌き、加工、配送等 ・稼働開始：平成23年度予定 	<ul style="list-style-type: none"> ◎江東区豊洲への新設移転 ・敷地面積：375千㎡ ・施設：卸売場、仲卸売場のほか、加工・配送などに対応し、かつ温度管理ができる。 ・稼働開始：平成26年度予定